



nakaoyama
pottery
guide

中尾山 やきもの 案内

8本の古い煙突、路地裏、
天日干しされる生地…。
ものづくりの気配が色濃い中尾山で、
お気に入りの器を探しませんか？

保存版

長崎県波佐見町

控えめに美しく
生活に馴染む器が
日本人の心に触れる



寄り添うように窯元や家屋が立ち並ぶ、世界最大級の登り富路が2基あるのも特徴。

1644年に始まったとされる中尾山の陶磁器生産。現在でも20程度の窯元・商社が陶器としての歴史を守っており、郷を歩けば随所にもものづくりの気配を感じることができる。

『陶房青』が建つのは、中尾山のほぼ中央、石畳が敷かれた細い路地を上る途中に佇む。窯主を務めるのは、大きな体と柔和な笑顔がチャーミングな吉村聖吾さん。19才という若さ

父親の跡を継いだ。『陶房青』を構成するのは10人の職人たち。大学を出たばかりの若手から絵付け歴30年を誇る大ベテランまで、経験値も出身地も様々だ。しかし、すべての職人の心にあるのは、『決して奇をてらわず、暮らしの中でほっとする心のなごみになる器づくり』という信念。現代の暮らしのなかで使える日常食器を、先人陶工の技術や知恵をもとに生み出している。

← 工房を覗いてみよう！



窯主の吉村聖吾さん。大きな手から、繊細な形状が生まれる様子は魔法のよう。

4・釉薬

色彩や肌合いといった装飾性だけでなく、汚れ・水濡れ防止の機能性も付加する釉薬。波佐見では、呉須の発色性や焼成温度の条件から透明な石灰釉を多く用いる。



釉薬をかけたくない箇所には、溶かした銀を塗る「銀抜き」を施す。

5・本焼成

多くの陶磁器は、約1000℃まで酸化炎焼成を行い、次に還元炎焼成に切り替えて温度を上げ、最後は中性炎に近い還元炎焼成で約1300℃の焼成をする。

6・上絵付



釉薬の上に上絵具を用いて装飾を施す。下絵付けと異なり多彩な絵具があるため、デザインの幅も広い。上絵付の後、750～850℃で焼きつける。

7・検品をして完成！

完成した商品は、商社や契約店舗に卸されるほか工房併設のショップにも並べられる。ショップでは、市場に出回っていない商品にも出会えるためここでしかない楽しみがある。



住所：中尾郷982
電話：0956(85)4344
営業時間：8時15分～17時
定休日：日曜日・土曜日不定
ショップ：有
工房見学：☑



1・成形

様々な成形方法があるが、『陶房青』ではロクロや押し型を多く使用する。押し型とは石膏の型に陶土を押し込んで成形する方法で、複雑な形状の製品を大量に作る時に用いる。

ロクロ



上/ひとつずつ異なるニュアンスが生まれるのがろくろの面白さ。右/一度ろくろでひいた生地に型押し付け形状を作る。

押し型



2・乾燥・素焼き



成形直後の生地は水分を多く含む。水分が残った状態で素焼きをするとヒビやひずみが生じて製品の欠陥につながるため、乾燥した後に行う。



3・下絵付け

素焼きをした生地に絵具で描画。下絵付けの後、釉薬を施して本焼成をすることで釉薬が溶けて絵具が発色する。下絵は釉薬の下に絵具があるため、耐久性が高いのも特徴。





上/ナチュラルな雰囲気の粉挽き。
下/ショップは工房に併設しており、作業の様子を見ることが出来る。

手にしっくりと馴染む
素朴な心地よさ

04 筒山太一窯

TSUTSUYATAICHIGAMA

ざっくりとした温かみのある『筒山太一窯』の土ものは、料理を引き立てる名脇役。使い込むほどに風合いを増し、愛着がわくと評判だ。土は信楽に天草のものを混ぜ、強度を高めているそう。また、様々な釉薬で魅せるパラエティに富んだ表現も持ち味で、目でも楽しめる器を提供している。

住所：中尾郷1018 / 電話：0956(85)4912
営業時間：8時30分～17時 / 定休日：土日祝日
ショップ：有(9時～17時・土日祝日定休)
工房見学：☑



モダンなNeo Hasami
使いやすさを追求

05 一龍陶苑

ICHIRYUTOUEN

“器作りはよろこびつくり 夢創り”を胸に、1866年の創業から日常食器を作り続ける。老舗ながらも、作る器は現代の食卓に合わせたシンプルモダン。色釉のバリエーションが楽しい「しのぎ」をはじめ、中国のスワウ刺繍をイメージした「スワウ」など女性を意識した企画も並ぶ。

住所：中尾郷975 / 電話：0956(85)2037
営業時間：8時～17時 / 定休日：土日祝日
ショップ：くらふと館(9時～16時・土日祝日定休・要電話確認) / 工場見学：☑



エッジの効いたフォルムの「しのぎプレート」は8色展開。全色揃えたいカラーバリエーションだ。



上/奥深く描いた花唐草は、絶妙な濃淡で表情をつける。右/猫をモチーフにしたチャーミングな皿。



手作り・手描きが基本
本当にいいものを真面目に

06 洸彩窯

KOUSAIGAMA

京都市の土谷瑞光窯で修業し、平成3年に中尾山に窯を開いた梅野浩彦さん。信楽風の焼き締めと伝統的な染錦を組み合わせ、土もの特有の趣きに京焼風の優雅さを融合させた。草花や葡萄などの植物を描いたものや、猫・ウサギといったユニークなモチーフの作品が揃い選ぶ楽しさも多い。

住所：井石郷419の7 / 電話：0956(85)7223
営業時間：8時～17時 / 定休日：日曜日(電話予約で対応可能な場合あり) / ショップ：有
工房見学：☑



「一真陶苑」の代名詞「白磁手彫」。何十本ものカンナを使い分け、縦横無尽に表情をつけていく。「ジンプルな個性」のテーマ通り、どのような生活様式にも合うが他にはない個性をもっている。最近では、白磁手彫にアレンジを加えた色染カンナも登場。作り手の誠意を感じる心器は、全国区の人気を誇る。

住所：中尾郷670
電話：0956(85)5305
営業時間：9時～17時
定休日：不定
ショップ：ギャラリーととつと(10時～16時・不定休)
工房見学：事前予約で☑



住所：中尾郷627
電話：0956(85)4550
営業時間：9時～17時
定休日：不定
ショップ：有
工房見学：☑

マットな青銅釉は、古い時代から発掘されたような趣き。蓮がエキゾチックな雰囲気を醸す。



自宅兼ギャラリーは中庭を囲む穏やかな空間。若いスタッフの意欲的な作品も並べられている。

右/飲み物やデザートカップに使える「しのぎフリーカップ」。
左/ユニークな人柄で来訪者をもてなす店主の眞崎善太さん。

料理を引き立てる
光を宿した美しい白

02 一真陶苑

ISCHINTOUEN



飛びぬけて染色を施した「色染カンナプレート」。皿の下に土台として敷く、オリジナル木製プレートもあり。



03 光春窯

KOSHUNKAMA

技術に感性をぶつけて
多彩な作風を模索

シャープな白磁・伝統的な染付・異国を思わせる意匠。ひとつの窯元から生み出されたとは思えないラインナップは、訪れた人を驚かせる。窯主である馬場春穂さんは京都で修業をしており、その時代に身につけた赤絵を活かした作品も。受け継いだ技術に自由な感性をプラスした器は、毎日彩る逸品揃いだ。

気になる中尾山の30代 中川紀夫さん & 長瀬渉さん

column

Uターンの中川さんと、Iターンの長瀬さん。
歴史ある陶工の郷に新風を呼び込んだ2人をピックアップします。

毎日の暮らしに欲しい温かな器

器の表面を泥漿状の化粧土で装飾するスリップウェア。持つと心地よい重みがあり、表面はぼてりと艶やか。器そのものがマーブルを施したスイーツのようで、そこに料理を盛れば2倍も3倍も美味しそうに見せてくれる。

栃木県益子焼の窯元「大誠窯」で修業をした中川さんは、2004年に開催された「スリップウェア展」をきっかけにスリップウェアの器づくりをスタートさせた。難しいのは化粧土の配合で、生地が表面が生乾きのうちに素早く模様を描いていく。朴訥とした雰囲気の中川さんから生まれるラインは、伸びやかで有機的な魅力がある。



1. オープンにも使用可能。グラタンを焼いて、そのまま食卓に並べることができる。
2. デザートを盛りつけるのにぴったり。
3. 自然の流れにまかせた模様は、同じものはふたつとない。

◆ Profile

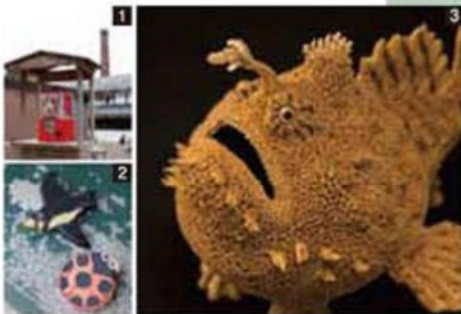
1980年長崎県東彼杵郡波佐見町生まれ。2001年秋田公立美術工芸短期大学卒業後、栃木県益子市「大誠窯」にて修行。2009年より波佐見に戻り、「紀窯」を築窯。

紀窯 紀夫

住所：中尾郷665の1
電話：0956(85)3338
営業時間：8時～17時
定休日：不定
ショップ：有 / 工房見学：有

山の製陶所跡地で生まれる海の命

生まれは山形県の山寺近くに建つ窯元。釣り道具を片手に全国を行脚する途中、たどり着いたのが波佐見町だった。人との縁が重なり、「西の原」など今の波佐見のランドマークとされるエリアの立ち上げに尽力。その後、やきものの町・波佐見にて自らの窯を構えることになった。中尾山に移設したのは2014年。現在は、製陶工場跡地をリノベーションしながら作陶活動を行っている。長瀬渉さんといえば、海洋生物をモチーフにした作品。マクロレンズで覗いたような精巧な世界に、生態のワンシーンを切り取ったかのような命が広がっている。



1. 改装中の敷地前には、長瀬さんが作るブローチのガチャガチャが設置されている。
2. ガチャガチャは1回500円で、何がでるかはお楽しみ。
3. 鋭い観察力で細かな歯や表面の質感を表現。

◆ Profile

1977年山形県山形市生まれ。2002年東北芸術工科大学美術学科工芸大学院修了。2003年東京藝術大学工芸科研究生修了後、波佐見町へ移住。2014年より製陶工場跡地を購入し、「ながせ陶房」を移設・築窯。同敷地内を「トラスネ」としてリノベーション中。

ながせ陶房 渉

住所：井石郷417の2
電話：0956(59)5432
工房見学：有

10

11



上 / 可愛らしさの中にも、モノトーンで落ち着いた美しさを演出。
右 / 工房に併設するショップには、新作がいち早く並び。



実用的な可愛さで
欲張りな女性の心を掴む

07 馬徳陶苑

BATOKUTOUEN

「いただきます」と「ごちそうさま」の間で思わず笑顔になる食卓を演出。昔ながらの肥前柄をモダンに仕上げた器や、手彫りで仕上げた穴に独自配合の釉薬を流し込んで焼く「ホテル焼」など食事の時間が待ち遠しくなる品々が自慢だ。ユーモラスな動物が描かれたシリーズは出産祝いにも最適。

住所：中尾郷981 / 電話：0956(85)3932
営業時間：9時～17時 / 定休日：第1・3日曜日
ショップ：ざらりー Only 焼
工房見学：事前予約で 有

世界最大級の登窯跡を備え
波佐見の栄華を伝承する

08 大新窯

OHSHINGAMA

大村藩の藩窯として開かれ、江戸・明治時代を通して多くのやきものを生み出してきた窯元。敷地内には全長170m・窯室39室を備えたとされる「大新登窯跡」を持ち、先人陶工の華やきを今に伝える。現在は普段使いに活躍するシンプルな器や、カラフルな絵付けが楽しい日常食器を提案。

住所：中尾郷767 / 電話：0956(85)2652
営業時間：8時～17時 / 定休日：不定
ショップ：天空(要予約)
工房見学：事前予約で 有



高台に建ち、敷地内からは中尾山を見晴らす。若い世代に向けた彩り豊かな器や子ども向け食器も多数。



上 / 下に向けて少しシェイプした「ST」シリーズ。下 / 縦じまのあるデザインは、ブリキカップがモチーフ。

白の可能性を広げ
波佐見焼を新境地へ

09 堀江陶器

HORIETOUKI

インテリアスタイリストや雑貨プランナーと共同企画をした「エイチ・プラス」シリーズ。シンプルな装いに程よい存在感をプラスし、「ありそうでなかった」器を提案する。ほか、オーナメントや小物入れ、カトラリーなど商品展開は多岐に渡り、ライフスタイル全般をプロデュース。

住所：中尾郷668 / 電話：0956(85)7316
営業時間：9時～18時 / 定休日：日祝日、土曜日不定
ショップ：有(9時～16時)・日祝日定休土曜日は要問合せ

彩り豆皿

Irodori
Mame Zara

手のひらにすっぽりと収まる豆皿は、
小さいながらも食卓を華やかに彩ります。
調味料を入れたり、
前菜をちょこんとのせたり、
美味しいおやつを添えたり…。
「中尾山に行ってきたよ」なんて、
気軽に渡すお土産にも最適です。



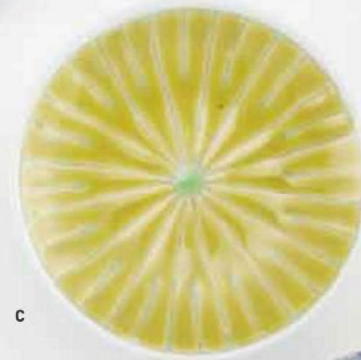
F



D



E



B



A



D. 光春窯

マットな質感に透明感も含んだトルコ釉は、春の青空のように涼しげ。シンプルでありながらもひと工夫を加えたフォルムは、飽きのこない良質デザイン。

800円/φ:13.5cm ※データはP3へ

E. 工房 あかり

パステルカラーの鮮やかな絵付けを特徴とする啓子さんの作品。使う人の心を弾ませるハッピーなデザインで、多くの女性を魅惑している。

1,000円/φ:約11cm ※データはP9へ

C. F. 大新窯

C グリーンがかった落ち着きのあるイエローを採用し、華やかなデザインながらも主張しすぎない一枚。

1,300円/φ:約9cm

F ビビッドなイエローに白いボタンが良く似合う。和洋中と様々な料理に合い、食卓の中心に彩りを添える。

1,300円/φ:約9cm ※データはP5へ

B. 陶房 青

丁寧な筆致と柔らかな濃淡が持ち味。一枚一枚手描きで描かれているため、すべての表情が異なる。フクロウやゴリラも揃えて、食卓を小さな動物園に演出しよう。

2,000円/φ:約10cm ※データはP1へ

A. 馬徳陶苑

2015年にお披露目された新シリーズ[hana]。爽やかな青の花に、赤いアクセントをプラス。手描きならではの濃淡も魅力だ。茶わんやフリーカップもあり。

800円/φ:約10.5cm ※データはP5へ



19 / 平井製陶所

40年以上作り続けている土瓶は、飲食業界を中心としたプロから選ばれる良品。工房併設のショップを訪れる場合は、電話確認をしてから訪ねよう。

住所：中尾郷708 / 電話：0956(85)3043
営業時間：9時～17時 / 定休日：日曜日
ショップ：有(要予約) / 工房見学：不可

17 / 輝峰製陶所

人気は葡萄を描いた白磁のシリーズで、爽やかな絵付けがギフトにも最適だ。中尾山に建つショップは、桜陶祭や秋陶めぐりなどイベントを中心にオープン。

住所：永尾郷346 / 電話：0956(85)4317
営業時間：8時30分～17時 / 定休日：不定
ショップ：有(中尾郷628の1・要予約) / 工房見学：事前予約で可

14 / 工房 あかり

絵本の世界から飛び出したような、毎日の生活に彩りを与える作品が並ぶ。器やバターナイフなどキッチンツールのほか、柔らかな光が零れるランプもお勧め。

住所：井石郷419 / 電話：0956(85)2067
営業時間：9時～16時 / 定休日：不定
ショップ：有 / 工房見学：不可

12 / 賢三窯

中尾山の白岳山で採れた土を使用するなど、物語を宿した作品が揃う。薪窯で焼き上げるため、作品ひとつずつが異なる風合いを持つ。表情の違いを楽しもう。

住所：中尾郷638 / 電話：0956(85)4750
営業時間：不定 / 定休日：不定
ショップ：童仙房(中尾郷634・要予約) / 工房見学：不可

20 / 光玉陶苑

桜陶祭や秋陶めぐりといったイベント時のみ開放され、自社ブランドの商品が購入できる。時代の流れを取り入れた商品に注目。

住所：中尾郷888 / 電話：0956(85)3021
営業時間：8時～17時 / 定休日：土日祝日
ショップ：無(一般販売はイベント時のみ) / 工房見学：不可



21 / 中尾山うつわ処 赤井倉

国の登録有形文化財に指定されている『赤井倉』では、波佐見焼を中心とした器の購入が可能。秋陶めぐりにはジャズライブが開催され、一層賑わいをみせる。

住所：中尾郷929 / 電話：0956(85)3359
営業時間：10時～17時 / 定休日：水曜日

18 / 孔明窯

2014年にショップをリニューアルし、より快適に商品選びができる空間に生まれ変わった。白磁にドットを描いた新シリーズが若い世代に好評。

住所：中尾郷665の1 / 電話：0956(85)3338
営業時間：8時～17時 / 定休日：不定
ショップ：有 / 工房見学：可

15 / 龍庵窯

桔梗やボタンといった、可憐な花々を描いた作品が女性を中心に好評。金との組み合わせ豪華なグラス(写真右)は、高級感を感じさせる作品だ。

住所：中尾郷890 / 電話：0956(85)4247
営業時間：8時～17時 / 定休日：日曜日
ショップ：有 / 工房見学：事前予約で可

13 / 池末製陶所

手作り・手描きにこだわった土ものを作るこちらの器は、男性的な大胆さが魅力。可愛らしい表情のお地藏様は手作り感たっぷり、手にした人を和ませる。

住所：井石郷419 / 電話：0956(85)4319
営業時間：8時～17時 / 定休日：土日祝日
ショップ：無(商品の購入は交流館にて) / 工房見学：不可



食事・体験
地元食材を使った自然派料理と石窯を使ったピザ焼き体験

買い物
散策の前に立ち寄りを
中尾の作品が集まる合同展示所

体験・宿泊
ろくろ・手びねり・絵付け体験
宿泊のみの利用も可能

16 / 古窯
お店のオープン祝いなどに最適な招き猫は、全長約53cmと迫力のある大きさ。ほか、季節の花々を映しこんだ箸置きやストラップ、風鈴など多彩な商品が揃う。

13 / 池末製陶所
手作り・手描きにこだわった土ものを作るこちらの器は、男性的な大胆さが魅力。可愛らしい表情のお地藏様は手作り感たっぷり、手にした人を和ませる。

文化の陶 四季舎
住所：中尾郷660 / 電話：0956(27)6051
営業時間：10時～17時(体験は～15時)
定休日：水曜日 / 【ピザ焼き体験】ピザ1枚1300円+体験料300円 ※前日までに要予約

交流館
住所：中尾郷157
電話：0956(85)2273
営業時間：9時～17時 / 定休日：火曜日

中尾山 伝習館
住所：中尾郷332 / 電話：0956(85)6127
営業時間：10時～12時、13時～17時 / 定休日：火曜日 / 【陶芸体験】ろくろ・手びねり972円～、絵付け756円～ ※予約優先



住所：中尾郷870の1 / 電話：0956(85)7754
ショップ：無(商品の購入は交流館にて)
工房見学：不可

住所：井石郷419 / 電話：0956(85)4319
営業時間：8時～17時 / 定休日：土日祝日
ショップ：無(商品の購入は交流館にて) / 工房見学：不可

陶郷中尾山 散策マップ



access

-  長崎自動車道・西九州自動車道をご利用の場合
 - 波佐見・有田IC から車で約 10 分
 - 嬉野IC から車で約 15 分
-  JR 佐世保線・大村線をご利用の場合
 - JR 有田駅から車で約 15 分
 - JR 川棚駅から車で約 20 分

中尾山～春と秋の注目イベント

桜陶祭

【開催日】毎年4月の最初の土日

桜の咲く時期に開催され、中尾山が最も賑わう2日間。窯元の一般開放のほか、音楽イベントや参加型ゲームなどが催される。なかでも人気ののが、数量限定で販売される「陶箱弁当」。器にお弁当が付いた贅沢な内容だ。

秋陶めぐり

【開催日】毎年10月下旬の土日

各窯元がお菓子や軽食のふるまいを用意するなど、いつもとは違った装いで来場者をもてなす。穏やかな陽気の中、窯元めぐりを楽しもう。



観光の問い合わせ: 波佐見町観光協会 tel: 0956-85-2290 <http://www.hasami-kanko.jp/>

記載データは 2015 年 3 月取材時のものです。営業時間・定休日など変更になる場合がありますので、訪問前の問い合わせをお勧めします。